

2023年度 自己評価結果公表シート

学校法人 常楽寺学園 ほづみあそびまなびの森

1. 本園の教育目標

[保育目標] 自分らしさを発揮しながら 豊かな創造性や感性をもち やろうとする力や向かう気持ち
あきらめずに達成する力が強く 人とつながる喜びを知る人になる

[保育方針] そのままの姿を受けとめよう たくさん抱きしめよう たくさんの失敗ができる場所にしよう
「ホンモノ性(学びの対象・人としてのあり方)」を大切にしよう
すべての人の違いは豊かさであり 同じ価値の存在として認めよう
一人ひとりの個性を尊重しよう

[まわりの大人が大切にしたいこと]
子どもを中心として それを取り巻く大人たちが 支えや学びの共同体になろう
子どもを生まれた時から 幅広い分野で発達する 生きた人間として見よう
子どもたちに人生の魅力を語ろう
子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう
大人も子どもも 豊かな安全基地をもち 愛着を安定させよう

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

「探求プロジェクト型保育」や自園給食調理の充実、長時間保育や2号認定の受け入れを豊かにする。また、保育の長時間化による愛着不安への対策や配慮を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

【前年度結果報告】

評価項目	取組み状況
園地拡張による移転や 新園舎での対策	移転先では車両などの交通量が多くなるため、事故等がないように対策をする。 新園舎を建設することにより、面積が広がることや保育室やアトリエ、ホールなどの環境が変わるため、全職員で入念に話し合いをしていきたい。
新しい幼児教育に向けて 取り組む	令和2(2020)年度から異年齢保育は行うことができた。「探求プロジェクト型保育(園独自の子どもの衝動的意欲「スパーク」や「感性・創造性・美術性」を高める教育法)」をさらに深めて実践する予定だが、子ども達の育ちの姿をしっかりと見取りながら実践していく。 愛着についても今までと同様に大切にしていきたい。 特性のある子ども達への配慮やプログラムにおいても、得意な才能を伸ばせるような環境やプログラムを検討する。
多様性の保育について	以前より、多様性の取り組みやいのちのはなし等について、幼稚園教諭や看護師、外部から講師を招くなどの実践を行ってきた。今年度より日本人以外のスタッフも雇用し、文化の違いや言葉、コミュニケーションの違いなどに気付ききっかけづくりをする。 教職員も様々な違いに触れることで、園全体の多様性を深めることにつながるため、実践していきたい
給食の質向上を図る	令和4年度の学校関係者評価の結果では「給食はどうでしたか」という項目が、給食センターの給食だったこともあり、かなり低い評価を毎年頂いていた。今年度より、自園給食になるため食育活動や出汁などの「うまみ」にこだわった給食づくりを心掛け、評価の改善につなげたい。
保護者同士が関わりあえる 場所づくりについて	令和4年度の学校関係者評価の結果で「幼稚園は、保護者同士が関わりあえる場になっていますか」という項目で、かなり低い評価となった。 新型コロナへの対策で、親睦会などが開催できなかったが、今年度からは親睦会、もちつきなどの行事、味噌づくり、畑づくり、おやじの会など保護者の方々にとって関わりあえる居場所づくりを計画し、実践したい。